

【授業科目】 検査情報管理学 Laboratory Information

| 担当教員 | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | 実務経験 | オフィスアワー | 教職員への授業公開 |
|------------------------------------|---|------|-----|------|------|------|--------------|-----------|
| 高崎 昭彦 | 2年次後期 | 必修 | 1 | 15 | 講義 | あり | 巻末掲載 | 可 |
| 授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法 | <p>授業概要／病院内で情報システムを正しく運営していくための、医療に関する情報などの収集、蓄積、解析を行う際の基礎知識について講義する。コンピュータの基礎からネットワーク構築についての情報科学の基礎から情報収集と情報処理の基礎から応用、すなわち、電子カルテを想定した病院情報システムの理解や医療情報システム利用に必要な情報共有化、プロトコール、用語、コードフォーマットなどの理解、セキュリティー、患者個人情報保護について総合的に講義する。*実務経験を持つ教員が授業を進める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、全体の総評コメントを掲示にて公開する。</p> | | | | | | | |
| 授業の位置づけ | <p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p> | | | | | | | |
| 到達目標 (履修者が到達すべき目標) | <p>①コンピュータの構造を理解できる。 ②医療情報システムを理解できる。 ③セキュリティーについて理解できる。</p> | | | | | | | |
| 時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言 | <p>第1～8回事前学習：指定の教科書を事前に読み、解らない用語について調べておくこと（各60分）。 第1～8回事後学習：各回での学びを復習することで確認し、解らなかったことは調べ教員に質問する（各60分）。 *その他に、講義で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各120分）。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p> | | | | | | | |
| 授業計画 | <p>第1回 情報科学の基礎1：情報科学の基礎 第2回 情報科学の基礎2：コンピュータの情報表現、用語 第3回 情報収集と情報処理1：コンピュータの基礎 第4回 情報収集と情報処理2：ネットワーク技術の基礎、データベースの基礎 第5回 電子計算機：コンピュータの基本構造、動作原理、プログラム言語 第6回 医療情報システム：医療情報システムの基礎、検査と医療情報システム 第7回 電子計算機：ネットワーク技術、データベース技術 第8回 セキュリティーと患者個人情報保護</p> | | | | | | <p>全て 高崎</p> | |
| 評価方法 評価基準 | <p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 課題レポート（講義内小テスト）30%、定期試験70%</p> | | | | | | | |
| 教科書 | 『最新臨床検査学講座 情報科学』 医歯薬出版 | | | 参考書等 | | なし | | |
| 学生へのメッセージ | <p>医療現場において発生する情報を適切に判断・処理できる人材が必要とされています。難しい用語も多いですが、積極的に講義に取り組んでください。</p> | | | | | | | |